



2014年 3月号
vol.16

熊本市上下水道局だより



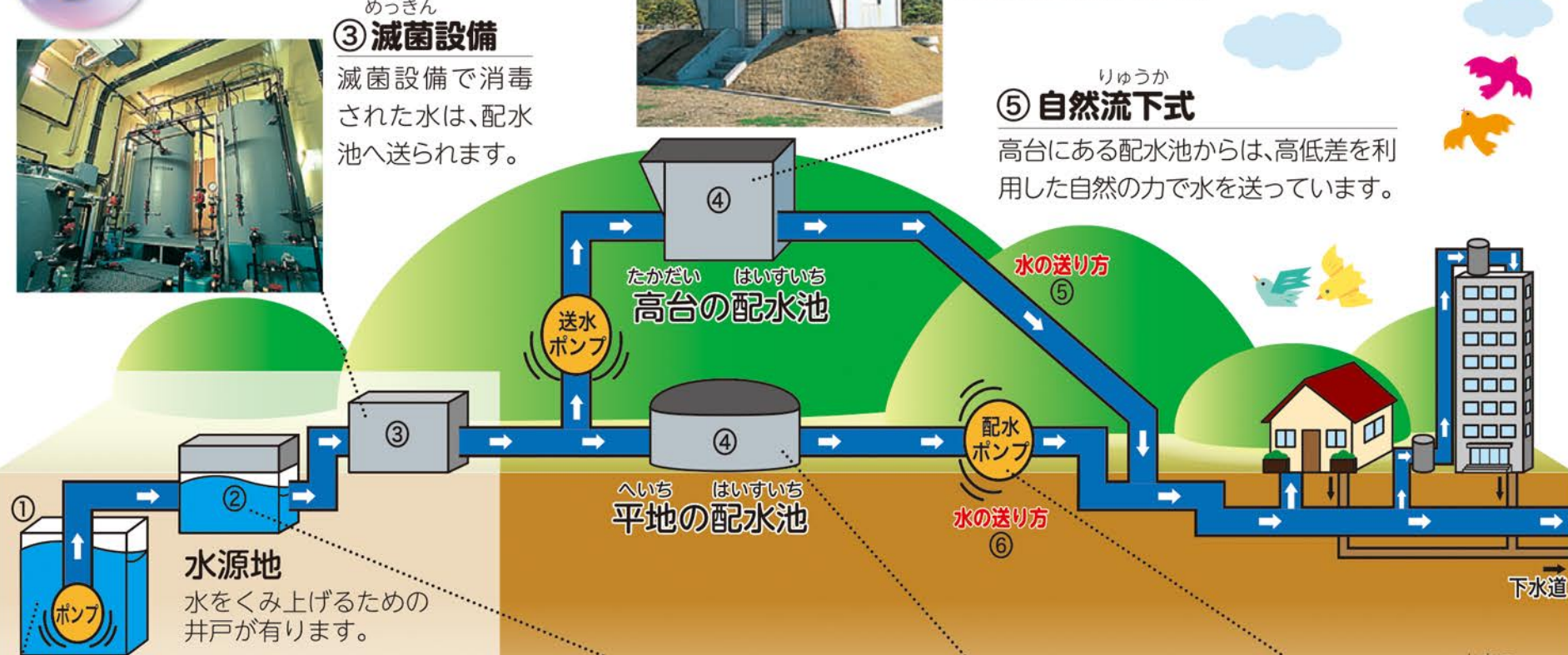
わくわく



知っていますか? 水道水が蛇口に届くまで

熊本の水道水は、健康水源地などの市内にある53ヶ所の水源地(114ヶ所の井戸)からくみ上げてみなさんの所へお届けしています。このように、多くの水源地が市内の至る所に点在しているのは、水道水を100%地下水で賄っている熊本市の特徴です。

水道の仕組み



① 井戸
水源地の井戸では、ポンプを使って地下水をくみ上げます。中には自然の力で水が湧き出す井戸(自噴井)も有ります。

② 集水槽
くみ上げた地下水をいったん集水槽に集めます。

③ 滅菌設備
滅菌設備で消毒された水は、配水池へ送られます。

④ 配水池
配水池には、いつでも水が使えるように、たくさんの水が蓄えてあります。

4面に掲載のイベントにも、ぜひ参加してください!



春のふれあい水道バスツアー

日本一の地下水都市“くまもと”の水について学びませんか!

4月19日(土) 9:00~16:30

【集合場所】 熊本交通センター

【見学場所】 健康水源地 → 鶴の瀬堰(緑川流域散策) → 佐俣の湯(昼食) → 中無田閘門(乗船体験) → くまもと工芸会館 → 熊本交通センター(着)

【参加費】 無料 ※昼食代は、自費となります。

【定員】 40人(小学生以上の市内在住あるいは在勤の方) ※小中学生は保護者同伴

【応募方法】 往復ハガキに郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号を明記し、下記の宛先まで。

※応募締切: 4月9日(水) 必着(応募者多数の場合は、抽選となります。)

お問い合わせ (公財) 熊本市水道サービス公社 ☎227-6282 FAX 227-6284 〒860-0048 熊本市西区池上町901番地1 ホームページ <http://www.kumamoto-wsc.jp/>



中無田閘門での乗船体験

科学の祭典 わくわくディスカバリ

針金を使ったアメンボ作りや-200℃の世界など水の不思議に触れてみよう!

【日時】 3月9日(日) 10:00~15:00

【内容】 ・ロボコンロボットにふれよう! (①10時から②13時から) ・-200℃の世界! (①10時から②13時から) ※定員 各30人(先着順) ・針金でアメンボづくり (①11時から②14時から) ※定員 各30人(先着順)

【参加費】 無料

【申込】 水の科学館へ事前申込 (電話 346-1100)



お問い合わせ 熊本市水の科学館 ☎346-1100 〒861-8064 熊本市北区八景水谷1丁目11-1

ツツジの花が咲く頃、上水道創設の地である立田山配水池を一般開放します。この機会に、普段は、入ることのできない立田山配水池を訪れてみませんか?



「立田山配水池」一般開放

水道の歴史や水に関することなどを分かりやすくご説明します。

徒歩で立田山配水池を目指し、上水道創設までの苦労や歴史などについて学びます。



※駐車場がございませんので、車のご来場はご遠慮ください。 ※配水池内での飲食はできませんので、あらかじめご了承ください。



新緑の季節、歩いて立田山配水池へ向かいます。

お問い合わせ (公財) 熊本市水道サービス公社 ☎227-6282 〒860-0048 熊本市西区池上町901番地1

お問い合わせ 熊本市水の科学館 ☎346-1100 〒861-8064 熊本市北区八景水谷1丁目11-1

良質で恵まれた地下水を次世代へ!

熊本大学の地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点(GeIK)では、留学生が熊本市の先進的な地下水保全システムを母国の地下水保全に役立てようと学んでいます。GeIKで特任助教を務めておられる利部(かがぶ)先生に「熊本市の地下水保全」について、お話を伺いました。

GeIKでは、母国で水問題を抱えるバングラデシュ・インドネシア・アフリカ・中国・ベトナム等さまざまな出身の学生が調査・研究に励んでいる、とのこと。

たとえば、バングラデシュでは、「水道水は、地下水によって賄われていますが、ヒ素などが含まれているため、煮沸して利用」しており、インドネシアでは、「シャワーや洗濯には、井戸の水を使っていますが、飲み水は、環境汚染や生活排水などで水道水の水質が悪く飲めないため、リターナブルボトルを購入している」そうです。

そのため、留学生たちは、恵まれた熊本市の水道事情に様に驚きます。「街の中に水が湧いていて、蛇口をひねればミネラルウォーターが出るという日常は、本当に恵まれています。留学生は、いつもペットボトルに水道水を入れて、持ち歩いているんですよ。」

また、「熊本市の地下水は、そのままでも飲める良質なものですが、水道水として利用する場合は、法律で定められた必要最小限の消毒がされているだけ」とのこと。

このように恵まれた地下水について、「次世代につないでいくために、量と質の面から調査・研究を行い、国連からも高く評価を受けた熊本市の行政・市民が一体となった地下水保全の取り組みにも力を入れていきたい」と熱く語られました。

最後に、秋田県出身の利部(かがぶ)先生へ、調査・研究の地に熊本市を選んだ理由をお尋ねすると、「地下水研究の第一人者であり、地球上の水循環に係わるプロセスを物理的・化学的に究明している熊本大学の嶋田純教授のもとで学びたい」との思いから、「将来は、江津湖の近くに自宅を構え、井戸を掘り暮らしたいです。」と笑顔で話されました。



熊本城にある古い井戸の地下水をサンプリングし、成分分析や地下水の流れを調べるGeIKの学生たち



熊本大学大学院自然科学研究科 地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点(GeIK) 特任助教 理学博士 利部慎(かがぶまこと)

「上下水道局だより」は、当号をもって廃刊することとなりました。これまでご愛読くださりありがとうございました。平成26年度からは、市政だよりやホームページのほか、地域情報紙(フリーペーパー)への記事掲載を通じて、より魅力的な情報の提供に努めてまいりますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

本当にありがとうございました。



〒862-8620 熊本市中央区水前寺6丁目2-45 熊本市上下水道局経営企画課

※郵便番号の記載により、住所は省略できます。

☎361-5422 FAX 384-4144

※3月17日から☎381-4330

E-mail: suidoukeiei@city.kumamoto.lg.jp ※市外局番 096を省略しています。

熊本市上下水道局ホームページ <http://www.kumamoto-waterworks.jp/>